



東実同窓会報 No.31

発行 〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-18-1 TEL 03-3732-4481

東京実業高校同窓会広報部
<http://www.tojitsu-dosokai.com>

会長 白田 佳彦 (第42期)

■あいさつ

会長に就任してから4回目の新年を迎えました。

同窓会会員並びに東京実業高等学校教職員の皆様には、平素より同窓会活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。同窓会を代表して厚く御礼申し上げます。

本年も皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。今後とも母校並びに同窓会の発展にお役に立てますよう誠心誠意努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

令和2年1月7日

■同窓会と私

東京実業高校同窓会は、昭和3年3月に同窓会(昼間部)、昭和4年3月に蛭窓会(夜間部)、昭和36年2月に五葉会(専門学校)が結成された後、昭和58年12月に3会を統合し、現在の「東京実業高校同窓会」組織となり36年が経ちました。

昭和から平成の時代を学校の発展と共に歩み、令和に御代が変わり最初の卒業生となる第95期生で会員総数は37,320余名になります。

私が同窓会活動に関わるようになったのは、昭和56年頃だったと思います。勤め先の会社の求人活動で、卒業生を採用したく学校を訪問した際に、学校事務職員で同窓会事務局の事務職を兼任されていた米田仁昌さん(第37期・現同窓会相談役)から「同窓会行事に参加してみないか?」と誘われ、山中湖学寮での1泊の懇親

旅行に参加したのがきっかけでした。その後、役員に就任致しましたが、それがいつ頃だったのかはつきり覚えていませんでしたので、会報に載っているかも知れないと思い、ホームページに掲載されている本誌のバックナンバーを閲覧してみましたら、創刊号(平成2年6月発行)に役員名簿が載っており、会長は第2代会長の村松濱代さんと、常任幹事に私の名前が載っていました。また、第4号(平成5年2月発行)に掲載の役員名簿では、会長は第3代会長の渡邊和彦さんと、私は副会長に就いており、同窓会との関わりは40年近くになり、自分の人生の半分を超えていることを改めて実感いたしました。

■少子化と同窓会

昭和57年に15歳未満の子どもの数が減り始め、平成9年以降は65歳以上の高齢者が子どもより多くなり、少子高齢化が大きな社会問題となりました。

母校においても、少子化による生徒数の減少と私学の生徒募集の競争激化などの影響もあり、入学してくる生徒数は減少しております。それに伴い本会の会費収入も減少し、本誌やホームページ等の広報媒体を通して皆様に寄付金のご協力をお願いし、運営資金に充当させていただくとともに各行事への補助金の削減などを実施しております。しかしながら今後の同窓会活動にも影響を来すことが懸念されますので、会費の徴収方法や金額の見直しなど学校と協議を重ね検討して参りたいと考えております。

■新会員の皆さんへ

今年も、360余名の後輩達がそれぞれの進路に向けて巣立って行かれ、本会の第95期会員とされますが、「親和誠実」「不撓不屈」の校訓のもとで学んだ東京実業高校の卒業生であることを誇りに思い、日々精進を重ねて益々活躍されますことをお祈り申し上げます。

卒業後は同窓会行事等に参加され、近況報告や若い視点からの意見などをお寄せいただければ幸いです。

特に、同窓会幹事の方は、毎年6月の第1土曜日開催の定期総会には、是非ご出席していただきたく切にお願い申し上げます。



東京実業高校同窓会のホームページ
<http://www.tojitsu-dosokai.com/>

令和の幕開き



理事長 上野 雅子

平成の御代が平成三十一年四月で終わり、五月一日より令和時代の始まりとなりました。八ヶ月の令和元年もそろそろ終わりに近づきましたが、新天皇即位の儀では三十一年ぶりに平安時代さながらの衣装に身を包まれた天皇、皇后のお姿をテレビを通して国民が見守り、新時代の幕開きを実感したことと思います。外国からの要人、王族の方々も出席され、日本独得の儀式に大いに興味を持たれたことでしょうか。元号が変わったからといって、日常生活が変わるわけではなく、今迄通りの日々を坦々と過ごしていますが、地球温暖化による気候変動は、私達の日常生活に大きな脅威をもたらしています。平成時代には大きな地震による未曾有な災害が occurred が、令和に入っただけには、台風の襲来で大雨による大洪水が何度も日本を襲いました。海水温度の上昇により低気圧が日本に近づくにつれて巨大化し、進路もまた、太平洋岸に接近し、防御の備えの無い地域が大打撃を被

ったことは、日本全体がこれからの対策を見直さなければならぬ時代に突入したことを物語っているのだと思います。

戦争のない時代が七十年以上続き、ネット時代AI時代と世の中は、どんどん便利で快適な時代になりましたが、自然の力には逆らえないことを身を持って実感しました。そして経済の面では、消費税率が10%となり、来年六月迄は5%の還元、外食店等では、店内で食べると10%、持ち帰ると8%等、複雑な仕組みは、落ち着く迄に時間がかかりそうです。世界を見ても中東地域、東南アジア、欧米諸国どこの国を見ても多くの問題を抱え、大よそ世界平和など夢のまた夢的な状態が続いています。教育界もまた、旧態依然では生き残れない危機を孕んでいます。人口の減少は国の衰退を意味しますし、若年層の減少は労働力の縮小ともなります。医学界では、若者の生殖能力の減退が憂慮されていると言われていています。益々複雑化していく社会で、若者が希望を持ち夢を持つことを教えられる教師の存在は重要なことと思います。教師一人一人が、自分を見つめ直し、若者達に尊敬される人間となるよう高い志を持って指導にあたることの出来る学校となるべく、これからも頑張っていきたいと思っています。日頃から同窓生の皆様には、多くのご支援を頂いておりますが、今後共変わらずご支援ご鞭撻をお願い致します。

(令和元年12月20日 記)

兄弟3校同窓会交流



上野塾 東京高等学校



南光学園 東北高等学校

- 第118回東北高等学校同窓会定期総会
 - ・期 日：令和元年5月17日(金)
 - ・会 場：仙台ガーデンパレス
 - ・出席者：白田会長、小畑副校長(副会長)
 ※東京高等学校同窓会柴田夏男会長も出席されました。
- 第46回東京中学校・東京高等学校同窓会定期総会
 - ・期 日：令和元年6月15日(土)
 - ・会 場：アジュール竹芝TKPガーデンシティ 浜松町
 - ・出席者：白田会長、酒井副会長、小畑副校長
- 東京中学校・東京高等学校同窓会暑気払い
 - ・期 日：令和元年8月24日(土)
 - ・会 場：グランドプリンスホテル新高輪 古稀殿
 - ・出席者：白田会長、酒井副会長、本田顧問、浅賀相談役
- 東京高等学校「いちょう祭」参観
 - ・期 日：令和元年9月29日(日)
 - ・会 場：東京高等学校内
 - ・出席者：酒井副会長

本会報誌について

○頒布(配付・送付)

本会報誌は、発行年度の卒業生には直接配付し、卒業してから3年までの会員、同窓会役員、行事出席者、寄稿者および広告掲載企業様等には、4月下旬に送付しております。また、定期総会や新年会開催の際に受付にて希望される方に配付しております。

在庫部数に限りがありますが、クラス会・同期会等の開催の際に必要な方は、事務局にご連絡いただければ差し上げますので、ご遠慮なくお申込みください。

○写真及び随筆文等の募集

皆様からの在校生の思い出やクラス会・同期会・近況報告などに関する写真や随筆・紀行文などを募集しております。文字数は最大1100字までとし、写真の挿入(ただし、1枚)がある場合は800字までとします。

なお、投稿文は編集において編集担当者の判断により、加除させていただくこともありますので、ご了承ください。また、原則として投稿者の顔写真を掲載させていただきますので、ご承諾のうえご提供くださいますようお願いいたします。ご提供いただいた写真は、使用後返却いたしません。

○バックナンバーの閲覧

本誌のバックナンバー(創刊号～本号)は、同窓会ホームページで閲覧できます。是非ご覧になってください。



学校長 知念 義裕

白田会長をはじめ役員の皆様並びに同窓会会員の皆様におかれましては生徒、母校のために日頃より多大なるご理解とご支援ご協力を賜り、心より御礼を申し上げます。

2020年の新しい年が明けました。創立98年目の今年も体育祭、東実祭等で後輩の活躍ぶりを応援していただければ有り難いと思います。また、この東実同窓会報をお読みいただければ母校の様子がわかります。広報部の川邊副会長をはじめ会報制作、編集に携わったすべての皆様に敬意を表し、感謝を申し上げます。

さて、同窓会、親師会、学校が共同で拠出するスカラシップ給付制度は平成30年度実績で、学業10名、資格・技能104名、スポーツ・文化11名が受賞致しました。生徒は受賞を機により高みを目指し今後も努力を継続してくれるものと期待しています。この同窓会会報に掲載されている電気科科長の須賀先生による電気科報告に国家資格にチャレンジした今年度の受験者数が書かれていますが、1月18日に合否発表がありましたので、この紙面をお借りしてお知らせいたします。

第二種電気工事士の合格者数は昨年度が24名でしたが、今年度は上・下半期合わせて58名が合格。第一種電気工事士は昨年度、過去最高の10名の合格者でしたが、今年度は更に記録更新となる14名が合格しています。

「教育は一人の先生から始まる」と言いますが、例えば第二種電気工事士の国家資格を取得した生徒が自信を持って第一種に挑戦するケースが年々増えていることはうれしい限りです。「やってみないか」という、たった一言、されど一言、指導者の一言の重みは確かに生徒の背中を押し、時に生徒のやる気に火をつけるのだと思います。東実祭では例年通り「同窓会の部屋」を出展していただき、テニスコートの模擬店では恒例の、もはや東実祭の名物とも言える校章入りドラ焼き、綿菓子販売、その収益の一部は毎年生徒会にご寄付いただいております。今年度もありがとうございました。一般公開日の来場者数は1,859名でした。ところで、今年の干支は庚子(かのえ・ね)、改める、変える、というイメージだそうです。新たに変化しようとする状態、つまり新たな芽が出て膨らむ、という繁栄の始まりを意味しています。本校は再来年の令和4年、2022年に創立100周年を迎えます。現在、創立100周年に向け、準備を進めているところですが、激動する社会にあって、とりわけ教育をめぐる環境が急速に変化する中、より魅力ある高校にするべく職員一同、様々な改革を推し進めています。

当欄も今回が最後となりました。同窓生のご活躍と同窓会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

(令和2年1月24日 記)

東京実業高等学校は2022年に創立100周年を迎えます。

創立100周年記念号 投稿記事募集

本会報誌34号(2023年3月に発行)は、創立100周年を記念特集号として、皆様が学校に在籍していた当時の学校内外で写した写真や投稿記事を掲載したいと企画しております。自由テーマの他、下記のテーマで募集しておりますので、奮ってご投稿ください。

記

テーマ1 「在校中の思い出」

テーマ2 「私の歩んだ道」

文字数は最大1100字までとし、写真の挿入(ただし、2枚以内)がある場合は800字までとします。

なお、投稿文の加除、顔写真の掲載、提供写真の取扱い等については、前頁に記載の通常号と同様とさせていただきます。(広報部)

第40回(2020年)定期総会 開催のお知らせ

第40回(2020年)の定期総会を下記の要領で開催いたします。

記

日時: 令和2年6月6日(土)

15時00分~18時00分

場所: プラザ・アペア(蒲田駅南口)

総会終了後、会費3,000円で懇親会を開催いたします。会費は、卒業後3年以内〔平成30年3月卒業(第93期)~令和2年3月卒業(第95期)〕の会員は、招待となりますので会費は無料です。

クラス会・同期会を兼ねての参加も歓迎しますので、各期卒業のクラス幹事の方々、クラスメートの皆さんをお誘いし、是非ご参加ください。(総務部)



学校法人 上野塾

東京実業高等学校

〒144-0051 東京都大田区西蒲田8丁目18番1号
TEL.03-3732-4481 FAX.03-3732-4456

東京実業高等学校は2022年に創立100周年を迎えます。

当校ホームページへのアクセスはこちら↓

学校説明会・体験入学の詳しい内容や、最新のTOPICSなどをお届けしています。また、要予約制のイベントもこちらのホームページより受付をしています。



東実

検索

学校の近況報告



副校長 小畑 雅一

2019年度は4月に287名の新入生を迎え、全校生徒981名でスタートしました。以下に、学校の近況をご報告致します。

■5年目の新校舎



村松ホール

2015年1月に竣工した新校舎は、今年で運用5年目を迎えます。生徒たちは日々、冷暖房が完備した清潔な校舎でそれぞれの高校生活を送っているわけですが、その中でも生徒たちが日頃から様々な形で活用しているスペースが、サウスウイング1階に設置されている「村松ホール」と「図書室」です。「村松ホール」は、故村松濱代第2代同窓会会長を偲んで命名されたフリースペースで、吹き抜けのフロアーにテーブルが10台と椅子、そして窓際には横長にカウンター席が並んでいます。近くには飲み物の自販機も設置され、また東側の壁にはビックモニターが設置されており、体育祭や文化祭などの様子を振り返るスライドが映されています。生徒たちは始業前には朝練後のミーティング、昼休みはお弁当を囲んでのランチタイム、放課後は教科書や問題集を持参しての自習など、それぞれの目的で集まり、自由な時間を過ごしています。その村松ホールの真ん中に伸びる廊下を挟んだ南側には「進路室」や「保健室」、そして「図書室」並んでいます。

「図書室」は廊下側が湾曲にデザインされた全面ガラスの壁で覆われており、村松ホールとの一体感が感じられる作りとなっています。奥の窓側には本棚が並び、中央のフロアーには本や雑誌、新聞などを閲覧するための大テーブルが5台置かれています。最近ではスマホなどに押されて、高校生の本を読む機会が少なくなっていますが、本そして図書室に興味を持ってもらうための担当者の様々な工夫により、多くの生徒が休み時間や放課後に図書室を訪れています。図書室を単に本を並べたスペースとせず、様々なカルチャーが交差する空間に。その様なコンセプトが実現しているように思われます。

都会の学校として校地の広さには恵まれません、新校舎の様々な設備を利用して、生徒たちはのびのびと高校生活を送っています。

■部活動の報告

●マーチングバンド部

今年度は部員数が29名と少ない中、11月10日に行われた関東大会小編成の部で見事金賞を受賞し、12月15日埼玉スーパーアリーナでの全国大会に駒を進めました。全国大会でも小編成の部で見事金賞を獲得し、通算31回目の全国大会入賞を果たしました。

●野球部

秋の東京大会においてブロック予選で2連勝をかざり本大会に進みました。本大会では1回戦で雪谷高校を撃破しましたが、2回戦で堀越高校に敗れ、3回戦進出はなりませんでした。春の都大会に期待したいと思います。

●陸上競技部

今年度は台風19号の影響により、例年東京都大会が行われる荒川河川敷のコースが使用できず、急遽舎人競技場でエントリー区間ごとの記録会が実施されました。各校選手が出した記録のトータルで、1番良いタイムを出した高校が予選を突破して全国大会出場となる変則的な予選会でしたが、結果本校陸上部は男子が7位に入賞を果たしました。残念ながら関東大会へは進めませんでしたが、選手たちはそれぞれ受持ち区間の距離を、全力で駆け抜けてくれました。

なお、女子は、選手の調整が間に合わず、今年度は残念ながら大会を棄権しました。

●男子サッカー部

秋に行われた全国選手権の東京都予選1回戦において早稲田実業高校と対戦し、1-1で迎えたPK戦の末、2-4で惜敗しました。

■教職員の永年勤続表彰及び異動（敬称略）

●永年勤続者

- 勤続40年：関根 章道(数学)、長谷川 浩(工業)
- 勤続20年：田中 清江(国語)、中村 大(工業)

●教職員の異動

- 新任教職員：鈴木七生希(商業)、羽田 雄(工業)
- 伊藤 亮(用務)、藤井 朋美(保健室)
- 飯田 昭(実習助手)
- 退職教職員：知念 義裕(学校長)

————— 令和2年1月31日現在 —————

東京実業高校同窓会会員総数							
第94期(平成31年3月)卒業生まで							
()内の数字は女子会員							
会員数		総数	商業系	工業系	普通系		
		うち女子					
屋間部(同窓会)	総数	36,965	14,265	17,464	5,236		
	うち女子	(3,565)	(2,612)	(13)	(940)		
(大15~平31)94期	総数	32,739	11,910	15,593	5,236		
	うち女子	(3,333)	(2,382)	(11)	(940)		
夜間部(蛍窓会)	総数	3,586	2,223	1,363			
	うち女子	(228)	(228)	(0)			
(昭4~昭52)49回	総数	640	132	508			
	うち女子	(4)	(2)	(2)			
専門学校(五業会)	総数						
	うち女子						
(昭35~昭48)14回	総数						
	うち女子						
第94期 卒業者数	商業系	工業系			普通系		
		機械科	電気科	IT	ビジネス	文理	
合計	402	0	110	60	30	143	59
男子	364	0	110	60	29	115	50
女子	38	0	0	0	1	28	9

機械科

先端分野でも即戦力に
豊富な実習で知識と技能を養成



機械科科長 藤田 稔

2019年度、機械科は新入生69名(内、女子2名)を迎えました。現在、機械科は1年生が2クラス、2年生も2クラス、3年生が3クラスとなっています。

各学年のクラス担任は、1学年A組：砂本眞〔機械〕、B組：村上信人〔機械〕、2学年A組：藤田稔〔機械〕、B組：松田稔〔体育〕、3学年A組：村山隆〔機械〕、B組：関根勝〔数学〕、C組：森昌芳〔体育〕の各先生方です。今年度より、専任講師として羽田雄先生、実習助手として飯田昭先生を迎え「ものづくり」の楽しさを実感させるべく、日々研鑽しております。現在の実習内容は1年生で機械、溶接、電子工作、2年生で機械、材料試験、デジタルデザイン、3年生で機械、NC/MC、CADを行っております。課題研究においては、ロボット制御、レゴロボット、情報演習を行っております。

将来の進路設計に向けての資格取得にも力を入れており、移動式クレーン・玉掛け、小型車両系建設機械運転、フォークリフト運転、アーク溶接、高所作業車運転等の技能講習会を実施し、多くの生徒が挑戦し、資格を取得しております。また、国家資格「第二種電気工事士」に機械科生徒4名が合格しました。

体育祭においては、昨年度「青組」今年度「紺組」と2年連続機械科が総合優勝しております。

同窓会の益々のご発展と同窓会の皆様のご多幸をお祈りし、機械科の近況報告とさせていただきます。

(令和元年11月20日 記)



小型車両系建設機械運転講習

電気科

【電気コース】

電気の基礎知識から資格取得まで
時代に即した技術者を育成



電気科科長 須賀 寛光

今年度より、前任の深川剛先生から引き継ぎ、電気科科長を務めさせて頂くこととなりました。

今年度、電気科の入学者は電気コース46名(女子1名)、ゲームコース27名(男子のみ)の計73名を新入生として迎えることができました。

現在電気科は、電気コース166名、ゲームITコース81名の合計247名の在籍数を数え、電気コース2・3学年2クラス、電気コース1学年と各学年のゲームITコース1クラスの計8クラス体制となっております。

10月に実施されました体育祭では、昨年に引き続き電気科のチームである「赤組」と「橙組」が最下位を競っている状況で、残念な結果となってしまいましたが、2年生電気コースB組の生徒クラス20名がバトンリレーで走る「これが青春だ」で学年優勝となり、優勝カップを獲得する事ができました。来年に向けて明るい材料ができました。

2019年前期「第二種電気工事士」試験は86名が受験して6月に実施しました筆記試験に58名(67.4%)が合格、

【ゲームITコース】

理系大学進学を目標に

IT分野全般で活躍できる力を養う

7月の実技試験では53名(機械科5名・ビジネスコース2名)の91.4%が合格しました。

「第一種電気工事士」試験は夏休みに入ってから講習会がスタートしました。10月の筆記試験で14名が合格見込、昨年失敗した1名と併せて15名が12月実施する実技試験に向けて放課後の講習会を受講しています。昨年度10名の合格者を上回ることを期待しています。

ゲームITコースの卒業生が「日本ゲーム大賞2018アマチュア部門」で優秀賞を受賞することができました。

来年度も嬉しい報告が出来ますように電気科一同指導して参りたいと思っています。

同窓会皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

(令和元年11月1日 記)



2019年度前期 第二種電気工事士試験合格者

普通科 ビジネスコース

就職に有利な資格・検定の取得と
大学進学を同時に実現



ビジネスコース科長
田口 結香

現在、普通科ビジネスコースには399名の生徒が在籍し、専門性を高め、様々な検定試験（簿記・情報処理・ビジネス文書・社会人常識マナーなど）に挑戦することで個人の能力を向上させています。この、検定試験において今年度はビジネス文書検定1級を3年川内大空が取得しました。また、ビジネスコースでは学校行事にも積極的に関わり、11月の東実祭では各種競技会を開催しています。今年度、珠算部門では1年船越偉央・2年秋山響・3年利田乃ノ葉、簿記部門では1年道川怜央・2年秋山響・3年大久保英明・大嶋一樹が同点、ワープロ部門では1年平野裕暉・2年前原美咲・3年川内大空が優勝しました。掲載写真はその時の様子です。また、今年度も「第9回ビジネスフェスタ」を開催し、販売実習・店舗運営を経験し、普段学んだ知識、技術の実践の場としました。この出店には東日本大震災の被災地である岩手県と宮城県、そして財団法人希望の商品をクラスごとに担

当し、復興支援の一役を担えるように物産品を調べ、販売につなげています。この実習販売においては、仕入・装飾・販売・マナーや接客、ポスター制作も行い、東実祭期間の2日間でどれだけお客様を引き付けられるか、貴重な経験を積めたと思います。この経験が将来の進路決定の材料につながることを望んでいます。

(令和元年11月20日 記)



普通科 文理コース

双方向型の授業と特別講座により
全員の志望校現役合格をめざす



文理コース科長
関根 章道

1976(昭51)年に設置された普通科は、2001(平13)年より普通科文理コースと名称を変更したものの、設置当時から「4年制大学現役合格」を目標とし、今年度で43年目を迎えました。一般社会での大学進学に対する意義は、時代とともに変容しておりますが、その必要性は変わりません。特に、高校生の50%以上が大学に進学する現代において、本校における文理コースの存在意義はますます高まっています。

さて、文理コースでは、次の三点を重点とし、指導しています。

- (1) 基礎学力の定着。
- (2) 生徒たちのレベルに合った学習の展開。
- (3) 大学進学に向けた実力の向上。

(1)については、毎週月曜の1時間目に到達確認テストを1学年で実施しています。国語・数学・英語の一週間分の授業の定着度を確認し、合格点に達しているかど

うかを把握しています。さらに今年度からは、リクルート社のスタディサプリというシステムを使い、休み中の宿題を一斉に配信したり、自身で出来なかったポイントをウェブ動画等で確認させています。

(2)については、特に数学で習熟度別授業を展開し、生徒のレベルに合った授業で、理解度を高めるようにしています。

(3)では、城南予備校から講師を派遣してもらい、1・2年生の希望者を対象に土曜講座を実施しています。年間約20回の土曜日が土曜講座となります。土曜講座のない土曜日には、Benesseの全国模試や英検の受験日等となりますので、土曜講座を受講している生徒は、学校6日制という意識で学習しています。内容は、英語と数学に特化し、90分授業としました。さらに今年度は、土曜講座を実力診断テスト等、ベネッセ模試でのGTZ(学習到達ゾーン)の向上のためと位置付け、通常の授業に加え、模試の振り返り授業も設定しました。

文理コースには、現在3学年合わせて104名の生徒が在籍しています。12月の文理コース集会では、知念校長先生による講話、検定取得などの奨励賞授与、そしてセンター・一般入試に挑む3年生への壮行会が行われます。

今後も文理コースは、時代の変容に身をゆだねつつ、伝統を継承してまいります。

(令和元年11月1日 記)

部活動

工芸部 e スポーツ班



工芸部顧問 深川 剛

工芸部は3年生11名、2年生33名、1年生6名の計50名の部員がおります。今までは模型班とパソコン班（プラモデル製作やゲーム制作）の2つに分かれて活動していましたが、2018年10月に3つ目の班として「eスポーツ班」を発足させました。

最近では「eスポーツ」という言葉をよく聞くようになりましたが、「eスポーツ(esports)」とは「エレクトロニック・スポーツ」の略で、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技としてとらえる際の名称です。簡単に言うと、複数人のプレイヤーで対戦するゲームをスポーツとして解釈して「eスポーツ」と呼びます。

工芸部 e スポーツ班は、5台のゲーム専用パソコンで活動しています。12月に初めて行われた、第一回全国高校 e スポーツ選手権に出場し、「ロケットリーグ」と「リーグオブレジェンド」というゲームの両部門に出場しました。結果的には全国の壁は大変高く、初戦敗退という結果になってしまいました。

出来たばかりの班ですが、今後トーナメントを勝ち続けられるように練習を重ねて、努力していきたいと思えます。

各ゲームの内容と対戦成績は次の通りです。



【ロケットリーグ】

車を操作して行うサッカーゲーム。相手に体当たりしても良く、多くゴールにボールを入れた方が勝ち。パソコンを使用して3対3で対戦する。

○2018年12月

第一回全国高校 e スポーツ選手権⇒初戦敗退

○2019年8月

第二回全国高校 e スポーツ選手権⇒初戦敗退



【リーグオブレジェンド】

5対5で対戦し、相手の陣地を先に攻め落とした方が勝ち。パソコンを使用する。

○2018年12月

第一回全国高校 e スポーツ選手権⇒初戦敗退

○2019年5月

第一回全国高校対抗 e スポーツ大会⇒初戦敗退



本校「eスポーツトレーニングルーム」

(令和元年11月20日 記)

生徒会



生徒会会長 池田 錬

今年度、私たち生徒会は2年生8名で活動しています。昨年よりも人数が少ないため活動内容がより密になり、一人ひとりが自覚を持って活動できていると思えます。

今までの生徒会活動を振り返りますと、4月に新入生歓迎会、6月には生徒会役員選挙が行われ、9月には先生と生徒の懇談会を開催致しました。また、10月には本校の二大行事でもあります体育祭、そして11月には本校のもう一つの行事である東実祭が行われました。

今年度の生徒会執行部は、一人ひとりが活動に対して

意識を高く持って準備しているため全ての行事で成功を収めることが出来ました。さらに生徒会内で連携・協力することによって、今までにない絆を築きあげていくことが出来ていると思います。

そして何よりも、生徒会は代々先輩方から受け継がれて来たこの伝統を大切に、過去の先輩方を越えていけるように活動していきます。

生徒会は、全生徒や先生方の支援があって成り立っておりますので、どうか今後とも我々生徒会執行部を応援の程、宜しく願い致します。さらに今まで以上に全力を尽くして頑張ります。

(令和元年11月20日 記)



生徒会誌「蒲公英」、「together」の発行も行っています。

定期総会報告

第2号議案 平成30年度収支決算報告

平成30年度 収支決算報告書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

収入の部			支出の部		
科目	予算	決算	科目	予算	決算
前年度繰越金	3,733,829	3,733,829	事務消耗品費	250,000	263,917
入会金	4,070,000	4,020,000	通信連絡費	140,000	118,820
寄付金	100,000	170,000	ホームページ管理費	170,000	166,082
広告費	50,000	39,082	印刷費	50,000	49,248
総会会費	180,000	141,000	会議費	300,000	380,786
旅行会費	300,000	360,500	総会助成費	300,000	318,588
新年会会費	300,000	374,000	総会会費	260,000	241,000
東実祭	200,000	193,100	旅行助成費	100,000	100,696
受取利息	21	376	旅行会費	300,000	360,500
雑収入	230,000	287,462	新年会助成金	200,000	66,420
総会	80,000	100,000	新年会会費	450,000	539,962
旅行	0	0	東実祭助成費	60,000	73,552
新年会	150,000	165,962	東実祭費	200,000	193,100
拡大幹事会	0	20,000	会報発行費	630,000	641,700
その他	0	1,500	慶弔費	300,000	394,460
会議会費	45,000	57,000	卒業記念品費	400,000	382,525
拡大幹事会	45,000	57,000	積立金	600,000	300,000
その他	0	0	交通費	20,000	15,000
			予備費	110,000	44,820
			雑費	1,000	324
			奨学金	500,000	500,000
			次年度繰越金	3,867,850	4,224,849
			普通預金	3,827,850	4,033,152
			現金	40,000	191,697
収入合計	9,208,850	9,376,349	支出合計	9,208,850	9,376,349

■積立金等次年度繰越金内訳(別途会計)

金融機関名	前年度残高	増減	利息	本年度残高	備考
定期預金(みずほ)	15,524,024	300,000	△54	15,823,970	定期預金
定期預金(三菱UFJ)	10,118,115	0	857	10,118,972	定期預金
合計	25,642,139	300,000	803	25,942,942	

定期総会

第39回定期総会は、令和元年6月1日(土) 15時より、プラザ・アペアにて開催されました。

議事に先立ち、永眠された方々への黙禱が捧げられ、臼田佳彦会長、知念義裕校長(名誉会長)の挨拶の後、会長が議長となり次の5議案が審議され、いずれも全会一致で原案通り可決承認されました。

- 1号議案 平成30年度事業報告
- 2号議案 平成30年度収支決算報告
並びに監査報告
- 3号議案 令和元年度事業計画(案)
- 4号議案 令和元年度収支予算(案)
- 5号議案 異動に伴う役員改選(案)

議事終了後、2年生(現3年生)のスカラシップの認定授与式が行われました。学業奨学生、資格・技能奨学生、スポーツ・文化奨学生の代表者に知念義裕校長より認定証が授与され、それぞれの受賞者がお礼の言葉を述べ、授与式が終了し、閉会となりました。5号議案の役員改選では、常任幹事の南俊和氏(第44期)、相談役の小島浩氏(第36期)が逝去により退任となりましたが、本年度役員は、非改選期であり他の役員は全員重任です。本年度の同窓会組織体制については、次頁の「令和元年度同窓会組織図」をご覧ください。



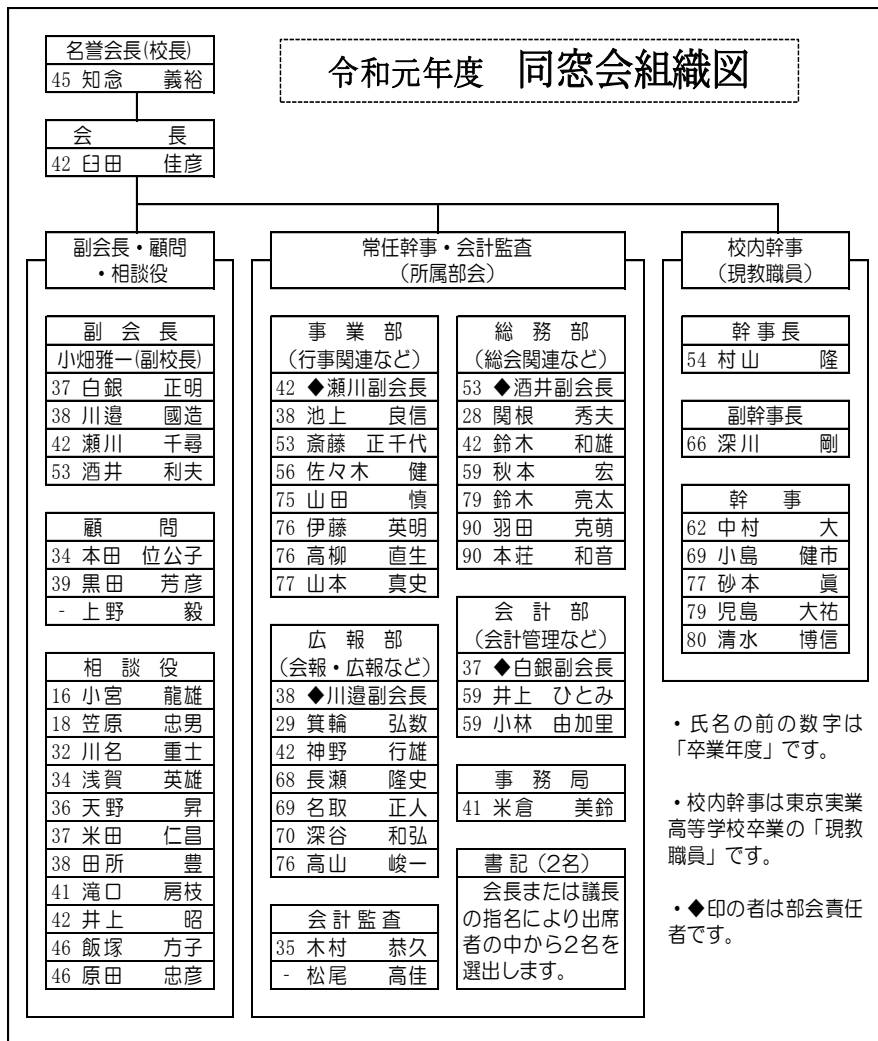
校長・スカラシップ受賞者代表・会長

懇親会

総会后、学校法人上野塾上野雅子理事長と東京高校同窓会の柴田夏男会長、三枝香容子・松浦みき両副会長をご来賓にお迎えし、総勢74名の出席のもとに懇親会が盛大に開催されました。

出席者の最高齢は86歳(第26期・1951年卒)、最年少は19歳(第94期・2019年卒)の70歳近い年齢差のOB・OGが交流するという同窓会ならではの楽しく有意義な時間を過ごした後、全員で校歌を斉唱し、渡邊正信氏(第30期)の国会恒例となった「変形五本締め?」の後、川邊副会長の閉会の挨拶で閉会となりました。(総務部)





定期総会懇親会

第3号議案 令和元年度事業計画

- | | |
|---|---|
| <p>■総務部(定期総会及び庶務一般等に関する事業)</p> <p>1. 第39回 定期総会並びに懇親会の開催</p> <p>①定期総会
・日時: 令和元年6月1日(土) 15時～
・場所: プラザ・アペア</p> <p>②懇親会
・定期総会終了後、隣接会場にて開催
・参加費: 3,000円 ※卒業後3年以内の会員は無料招待</p> <p>2. 拡大幹事会の開催
・日時: 令和元年11月22日(金) 18時～
・場所: プラザ・アペア
・会費: 3,000円</p> <p>3. 庶務一般関係</p> <p>①会員の名簿の整理及び作成
②会員の同窓会事業への参加促進活動
③卒業記念アルバムの管理
④その他
(1) 常任幹事会等の開催
(2) 新幹事との懇親会の開催
(3) 学校行事への出席</p> <p>■事業部(年間行事等に関する事業)</p> <p>1. 第36回 懇親旅行の実施
・日時: 令和元年9月28日(土)～29日(日) 1泊2日
・場所: 山梨県石和温泉 ホテル石庭
・参加費: 20,000円</p> <p>2. 東実祭への参加
・日時: 令和元年11月9日(土)・10日(日)
・催し: 同窓会の部屋の設営、校章入りドラ焼き、綿菓子の販売など</p> | <p>3. 令和2年新年会の開催
・日時: 令和2年1月25日(土) 17時30分～
・場所: 品川プリンスホテル メインタワー宴会場
・会費: 9,000円～9,500円
※卒業後3年以内の会員は無料招待</p> <p>■広報部(会報誌の発行、ホームページの運用管理及び広報活動等に関する事業)</p> <p>1. 会報誌関係
①東実会報31号の編集及び出版
②頒布(配付・送付)</p> <p>2. ホームページ関係
①随時更新及び運用管理
②年間行事等の情報提供及び参加者の募集
③会員からの各種変更届等の対応
④デザインリニューアルの企画推進</p> <p>3. 広報活動
①会報誌の広告掲載企業の募集
②ホームページのバナー広告企業の募集</p> <p>■会計部(予算・決算及び寄付・協賛・贈呈等に関する事業)</p> <p>1. 予算・決算関係
①現預金の出納業務
②当該年度の予算管理及び収支決算書の作成
③次年度予算の集計及び予算書の作成</p> <p>2. 寄付・協賛・贈呈関係
①卒業生への卒業記念品贈呈
②スカラーシップ(奨学金)への寄付
③部活へのお祝い金贈呈
④役員会で承認可決された慶弔金・寄付金等</p> |
|---|---|

主な行事報告

第36回 懇親旅行

第36回の懇親旅行を下記内容で催行致しました。

記

- ・期 日 | 令和元年9月28日(土)～29日(日)
- ・交 通 | 貸切りバス (25名乗り)
- ・宿 泊 | 石和温泉ホテル石庭(山梨県石和市)
- ・見 学 | リニア見学センター(都留市)、桔梗屋アウトレット(笛吹市)、ストーンエッグ英雅堂(笛吹市)、シャトー勝沼(勝沼市)、ハーブ庭園旅日記(勝沼市)、武田神社(甲府市)
- ・昼 食 | 里の駅いちのみや(笛吹市)、歩成(山梨市)
- ・参加者 | 19名 (男13名、女6名)



ホテル石庭にて



ハーブ庭園にて

(事業部)

「旅行記」

小林 由加里 (第59期) 写真上:前列左から2人目
井上 ひとみ (第59期) 写真上:前列左端

令和の時代になり初めての同窓会懇親旅行、今回は山梨県石和温泉界隈を巡る旅行でしたが、私たち同期二人組は初めて参加いたしました。同窓会の旅行はのんびりゆったりを想像していましたが、機敏な諸先輩方が大変多く、私たち二人が先輩方をお待たせしてしまうということも多々ありました。それでも責められることなく大変楽しく充実した2日間を過ごすことが出来ました。

今回は母校前より中型バスでの移動となりました。しかし、交通渋滞に巻き込まれ予定通りの行程ではありませんでしたが、ワイナリーやハーブ園などを見学し石和温泉のホテル石庭に無事に到着。温泉や美味しいお料理、そして先輩方のユーモアあふれた楽しいお話で時間はあっという間に過ぎていきました。カラオケマシンの故障で2次会は中止という残念なこともありましたが、是非また参加したいと思います。

東 実 祭

在校生の二大行事の一つである「東実祭」が、令和元年11月9日(土)・10日(日)の2日間にわたって開催されました。今年は、死後様々な色に輝き、復活すると言い伝えられ、学校のシンボルになっているフェニックスをテーマにした「不死鳥の輝き」で、東実祭に参加するすべての団体がそういった色合いに輝けるようにという願いが込められたテーマでした。

同窓会は、今年も恒例となった校章入りドラ焼きと綿菓子の販売を行い、同窓会の部屋には会員が制作した作品や歴代の卒業記念アルバムの公開、定期総会や新年会で撮影した写真などの展示を行いました。また、本年度から、同窓会関係者は、「同窓会のネーム入り」のユニフォームを着用することにしました。



また、今年初めて兄弟校(東京高等学校・東北高等学校)の沿革一覧表や東北高等学校同窓会から贈られた同校のOBでオリンピック・フィギュアスケート金メダリストの羽生結弦さんの優勝祝賀記念T-シャツ、荒川静香さんと羽生さんの紹介パネルの展示も行いました。



「旧教職員の会」

10日午後、教職員OB有志の「旧教職員の会」が開催され、白田会長と本田顧問が招かれて出席しました。



(事業部・広報部)

新幹事懇親会

令和元年年12月10日(火)11時15分より、学校会議室に於いて、各クラスから2名ずつ選出された令和元年度(第95期)同窓会幹事22名と、知念義裕校長、小畑雅一副校長並びに担任の先生方へ出席いただき、同窓会役員との懇親会を開催しました。

臼田佳彦会長より同窓会活動の紹介と行事への参加協力をお願いなどを兼ねた挨拶があった後、シニアランナーとして世界的に活躍されている中野陽子さんに講演していただきました。講演終了後、幹事の自己紹介があり、幹事の中から代表幹事1名、副代表幹事3名を選出していただきました。選出された幹事及び担任の先生は右表の「同窓会幹事名簿」の通りです。(総務部)

中野 陽子氏(84歳)プロフィール

親子二代にわたって学校職員だった中野アイさんと娘の中野富美子さんの義姉で、シニアランナーとして世界で活躍。76歳の時にはサロマ湖100kmを完走(12時間29分20秒)するなど、これまで国内外30回のフルマラソンを完走し、平成28年に80~84歳の部で、800m、1500m、3000m、5000m、10000mフルマラソンの計6個の世界記録を樹立。平成29年の東京マラソンでは4時間11分45秒で走り、自己の世界記録を更新。平成30年9月にスペイン・マラガで開かれた35歳以上の陸上の世界大会・世界マスターズ陸上に出場し、ハーフマラソンなど金メダルを4つ獲得し、女子800m、5000mでは世界記録を更新しました。

令和元年度(第95期)同窓会幹事名簿

クラス	担任先生	幹事	
機械A	村山 隆	内山 青馬	佐藤 文弥
機械B	関根 勝	谷口 輝	山田 光希
機械C	森 昌芳	◎小野 琢末	○林 明輝
電気A	児島 大祐	○大勝 敦氏	○高野 楓斗
電気B	小谷 司	山口 徹大	杉野 優斗
電気ITA	小泉佐和子	廣原 光希	双木 あい
普通A	田口 結香	大谷 純菜	小池田悠翔
普通B	清水 博信	佐々木空牙	並木 寧音
普通C	小島 健市	大久保英明	赤星 佑
普通D	毛塚 卓夫	濱田 奨真	渡邊 怜央
普通E	上原 直輝	渋谷 寿貴	大塚 詩音

- ・学年主任は、湯尻英明先生です。
- ・◎印は代表幹事、○印は副代表幹事です。



第95期同窓会幹事

拡大幹事会

令和元年度の拡大幹事会は、昨年11月22日(金)、18時よりプラザ・アペアにおいて、知念義裕校長は所用のため欠席でしたが、20名の出席者(学校関係者4名、弊会役員16名)のもとで開催されました。

会議では、臼田佳彦会長の挨拶の後、小畑雅一副校長より学校の近況や部活の活躍状況などの報告があり、続いて各部会責任者より実施された事業及び事業年度内に実施予定の事業について報告されました。

会議終了後、忘年会を兼ねた懇親会を開催し、有意義な情報交換と交流を深めることが出来ました。

本会を通じて、同総会と学校相互の連携・協力体制の強化を図って参りたいと思います。(総務部)

令和2年 新年会

令和2年新年会は、1月25日(土)17時30分より、品川プリンスホテル・メインタワー10階「ムーンストーン10」にて、学校法人上野塾上野雅子理事長、学校現・元教職員並びに昨年3月卒業の第94期生(19歳)から第28期生(85歳)の年齢差70歳近い同窓会ならではの多彩な顔ぶれが集う中、東京高校同窓会柴田夏男会長、松浦みき副会長、事務局の佐藤裕美子様をご来賓にお迎えし、総勢48名の参加のもと、盛大に開催されました。

臼田佳彦会長、上野雅子理事長の挨拶に続いて、東京高校同窓会柴田夏男会長よりご祝辞をいただいた後、小畑雅一副校長の乾杯の発声により開宴となりました。

普段あまり話す機会がない先生方や先輩後輩の垣根を越えて、和気藹々の懇談が続く中で行われたビンゴゲームで盛り上がるなど、楽しい時間を過ごし、最後に全員で校歌を斉唱して閉会となりました。(事業部)



令和2年
新年会
(於 品川プリンスホテル)

寄稿・投稿欄

青森山田高校 木村隆文理事長との思い出

私の会社（瀬戸空間プロデュース株式会社）は、渋谷センター商店街振興組合に所属しておりますが、センター商店街では、青森と渋谷の友好のため、『青森ねぶた祭り』を毎年開催しておりました。渋谷センター商店街振興組合と青森山田高等学校、青森大学がコラボして、青森と渋谷両都市を盛り上げる『ねぶた祭り』を企画し、平成16年9月に第1回『渋谷ねぶた祭り』の開催が実現しました。

毎年、残暑もきつい9月には木村隆文理事長が自ら、渋谷に来訪され、陣頭指揮を執って下さり、大いに盛り上げて頂き、木村理事長の行動力には感動致しました。

毎年、山車方、お囃子方と『はねと』の皆さん、青森大学の男女の学生さんの総勢100名を超える若者が、青森から深夜バスで参加して頂きました。センター商店街の通りいっぱい『ねぶた』の山車と、お囃子、祭り衣装の『はねと』の皆さんで、渋谷センター商店街がまるで本場の『ねぶた祭り』会場になったような光景でした。

各回には、木村理事長のご友人である歌手の『由紀さおり』さん、『青森大学社会学部教授 見城美枝子』さん、更には『橋幸夫』さんも駆けつけて下さり『ねぶた祭り』をおおいに盛り上げて下さいました。

残念ながら、木村理事長が亡くなられたこともあり、今は『渋谷ねぶた祭り』は開催しておりません。思い出に残るのは、木村理事長から、渋谷センター商店街の役員一同に、本場の『青森ねぶた祭り』に参加しないかとお誘い頂き、平成21年に『青森山田・青森大学のねぶた



瀬戸 盛義 (第42期)

チーム』に参加できました。青森大学、青森山田高校の生徒さんやOBの皆さん、学校の関係者の皆さんと一体となって、大きな『ねぶた』の山車、お囃子の一団、百数十名の『はねと』と共に賑やかにお祭りに参加し、本場の熱気を体験できました。滅多にできない経験をさせて頂き、私の一生の思い出となっています。

また、平成23年3月8日、平成22年度青森山田高等学校東京校・千葉校・埼玉校通信課程の合同卒業証書授与式が東京で開催され、この卒業式に『ねぶた』のご縁で、木村理事長より依頼されて祝辞を述べる機会を頂き、私などがそういう場で祝辞を述べて良いのかと、大変緊張した思い出があります。

木村理事長には、大変お世話になり、貴重な経験をさせて頂き感謝しています。亡くなられたことは大変残念です。しかし、理事長の情熱は、青森や青森の若者たちに連綿と受け継がれていると確信致します。また、いつか機会がありましたら、『青森ねぶた祭り』を見学に行き、理事長を偲びたいと考えています。



渋谷センター商店街の役員
(前列向かって右端が木村隆文理事長、その隣が瀬戸盛義)



ねぶた

由紀さおりさんと

祝辞

本日、めでたく卒業式を迎えられた皆さん、おめでとうございます。保護者の皆様にも、心からお祝い申し上げます。

皆さんはこれから、この青森山田高校で学ばれたことをもとに、大学へ、あるいは専門学校へ、あるいは就職へと、それぞれの道を歩いていかれます。皆さんはいま青春のまっただなかにいます。生命力にあふれ、何事にも恐れず目標に向かっていけるエネルギーに満ち満ちておられます。

しかしながら、ここで一つ心にとどめておいていただきたいのは、青春とは年齢のことをいっているのではないということです。その人の心のあり方を示す言葉だということです。

目標に向かって心を熱くたぎらせているかぎり、その人はいつまでも青春を謳歌しているわけです。逆に、前進することを恐れ、消極的な道を選ぶとするならば、その人が十代であろうとも青春とはいえないのです。失敗を恐れず、それぞれの目標に向かって力強く歩き出してください。

皆さんのご活躍をお祈りしております。

平成二十三年三月八日

渋谷センター商店街振興組合
副理事長 瀬戸 盛義

卒業証書授与式の祝辞

沖縄紀行

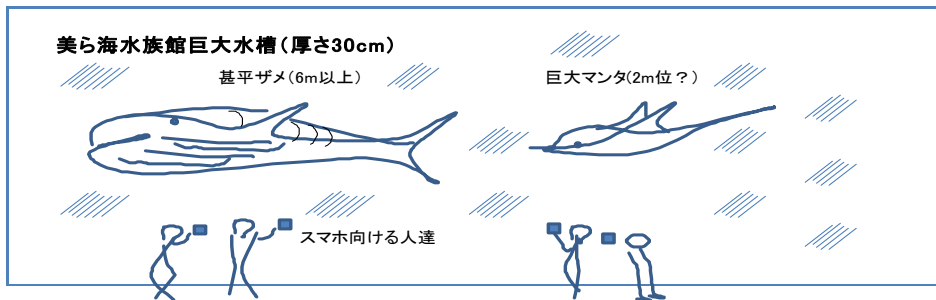
(2019年2月19日～21日)



石原 孝 (第36期)



沖縄美ら海水族館にて(2019.2.20)



OB会有志によるフィールドワークの一環として「沖縄行き」企画旅行に参加。今回は2泊の為、参加者はやや少なめの26名。昨年暮れ、「沖縄に旅行しない？」と話があって「まだまだ先のこと」と思っていた。誰だかオリンピックを待つ「その日は必ずやって来る」とテレビで放映されているがまさにそれである。小生、アクアライン経由の羽田は近い。平日にも関わらず午前中のロビーは学生や中国人とすぐ分かるグループも多々。我々敬老会？も機上の一員となり那覇空港に降り立った。空港に迎えてくれたガイド女氏によると、前日迄は風雨と寒さの数日だった由、諸氏の普段の行いが良かったのか。(笑い)？後述になったが、1972年(47年前)5月に沖縄が返還されたとき、プラス遺産として主要道路はアスファルトに成っていた。荷馬車で1時間かかった所も数分で行けるようになったとか…。今問題になっている基地移転がどのような決着を迎えることか、地元住民はどちらにせよ負担に耐え兼ねた胸中如何に。一夜にして右側通行だったのが、左になったり…。戦争体験世代とそうでない世代の沖縄県人は、前者は口には出さないが移転に、後者は本土に憧れる。また知る限り、どちらも誠実で受け身気質で感性豊か、潔癖なタイプで好感が持てる。臆(やが)て辺野古埋め立て反対の抗議デモを横目にして、本日の宿泊先「オーシャンスパ恩納」に到着。夕食は焼肉バイキングと地ビールを堪能。生憎(あいにく)カラオケの設備がなかったが、それでも幹事ルームにて代わる代わる雑談(特に失敗談)に花が咲く。未明迄(時間は覚えていない) 続き散会…。

翌2日目の朝は早く、ホテルを8時半頃には出発、数ある近隣のグラスボートに乗船し、海底探索となり、改めて透明度30mと聞き感銘。しかし、定期的に管理していても、珊瑚の隙間に煙のようにビニールが纏わり付いている…。説明によるとストレスとなって衰退してしまうとのこと。改めて環境問題の難しさが思いやられる。本日の移動は、地元年配バスガイド(自称シーサー；そ

ういえば面影が似ている) 沖縄県女氏の車中は博学？とユーモア一杯で退屈させない。そんなうちに「美ら海水族館」に到着、甚平ザメや巨大マンタなど圧巻。大きな体小さな瞳でこっちを見ている。何か逆に向こうが私たちに語りかけているみたいだ。こんなものを見るとクジラは食べられない。

古宇利橋(無料日本最長2km)を渡り砂浜の海水に触れると、氷のようだ…。砂は角砂糖位の角張った粒子(珊瑚の部分だとか?)だ。記念に少し採集しておけば良かったかも。今夜のホテル是那覇の中心「アーバン・那覇」で、落ち着いた趣のある部屋で宴会。場所を変えカラオケ大会と相成ったが、小生完全にダウン(飲みすぎ…)。

3日目も晴天(28℃)沖縄の太陽は近く蒸し暑い。10年程以前の初冬にベトナムへ行った時、11月なのにスクールがあり蒸し暑かったが、それに似ている。首里城(東西約400m・南北約200m、面積約5ha)内に入ると石垣が多く非常に歩きにくく、道が狭かったり傾斜が多く平坦な所が無く迷路のようになっていて敵からの防衛を考えた城だ。石垣の組み方も工夫されていて、距離感(遠近法?)を攪乱する防衛策も併せて納得した。石垣の種類について、例のシーサーさんに聞かせて貰ったが暴風対策のみに留め、長い琉球の歴史に触れることが出来た。最後に立ち寄った酒蔵「忠孝酒造」にて、貯蔵タンク(200kl)の銘板が目に入った。私が30年程前九州に赴いた頃にM社経由で設計製作したものが、此処で使用されていたのには驚いた。少しは世の中の為になら成っていたのかな…。

那覇を正午頃離れ帰路につく(30分程早い=偏西現象)、6時には自宅の風呂に入ってヤレヤレ(最高でしたヨ)。企画実行に携わった方及び幹事さん、お疲れさまでした。またよろしく!!

— 立春も過ぎ、臆(やが)て平成最後の初夏を迎える。

2019年3月20日 記 —

会員通信欄

第39回(令和元年)定期総会開催のご案内通知の「返信ハガキ備考欄」の記述文を抜粋しました。

○原川 清(第25期) 令和の時代を迎え、新たな気持ちで母校の発展を願っております。本年度も部活動の活躍の報に期待し、応援をしています。

○山崎 宏志(第37期) 小泉耕一郎氏が昨年同窓会の役員を退任されました。彼の功績に感謝申し上げます。同級生として何か出来ることがあればと考え、毎年総会だけは出席したいと考えています。同窓生には会報を送り届けたいと考えています。後日改めて連絡させていただきます。

○鈴木 昭彦(第38期) 同窓会報ありがとうございます。毎年楽しみにして拝読しております。

○飯塚 守昭(第38期・野球部) 会報送って頂きありがとうございます。毎年会報を見るたびに時代の流れを感じます。この時期になると同窓生との再会と高校野球の都予選大会の観戦を心待ちに楽しみにしております。今年も頑張ってください。応援しております。

○日下部 銑五郎(第38期) 会報ありがとうございます。6月12日(水)第38期大塚(旧須藤)クラス会を蒲田で開催することになりました。

○桜井 憲一・桜井 清子(第41期) 同窓会報ありがとうございます。卒業して半世紀になります。中学の進路で担任の先生(故人)から「東実はどうだ?うちの中学校からお前を初めて送り出すことになるので、次に続けられるように頑張ってください!」と言われました。そして現在、生涯の友との出会いに幸せを感じ、私の素晴らしい人生になっています。上野幸一校長先生と面接した記憶があります。

○榎山 善男(第42期) 役員の皆様ご苦労様です。私も年相応に元気で生活しています。総会当日を楽しみにしています。

○小林 研一(第70期) ご連絡ありがとうございます。予定を調整して少しでも、恩師(知念校長先生)にお会い出来ればと思っています。先生はお元気そうで何よりです。今後ともよろしく願いいたします。

現金書留でご寄付をいただいた封書に同封されていた手紙です。

この度は、東実同窓会報第30号をお送り下さいまして有難うございました。第18期の私達は、昭和17年12月の繰上げ卒業でした。地元の相生小、東京実業を経て進学も出来ました。93歳になった私達は、生存者が少なくなりました。殊に今回、同期の加藤裕久君と中込弘君の逝去の報には驚きました。つい2、3年前に会ったばかりです。私達の入学した頃は、既に若い先生方が応召される時代でした。上野熊蔵校長先生の公民の授業での政治講話が楽しく貴重な印象として残っております。

母校の繁栄をお祈り申し上げます。

令和元年5月吉日

河邊 位(第18期)

クラス会

秋日和の10月23日(水)、川崎日航ホテルで第41期女子商業科A組のクラス会が16名の参加で行われました。古稀を過ぎても学生時代の名前で呼びあい話も弾みました。(須山 悦子)



物故者(敬称略)

下記の方が逝去された旨、事務局に連絡がありました。ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

卒期	氏名()は旧姓	没年
第20期	武田 秀夫	平成30年 1月
第22期	小俣 信夫	平成31年 4月
第25期	小島 啓介	平成31年 4月
第34期	岩柳 武夫	
第34期	草野 輝子(玉城)	
第34期	矢萩 和子(堀向)	
第34期	(川上) 孝子	
第38期	鈴木 昭彦	令和2年 1月
第42期	中屋 公男	平成31年 1月

寄付者(敬称略)

(平成31年2月1日~令和2年1月31日)

No.	卒期	氏名	寄付金
1	第18期	河邊 位	10,000円
2	第29期	箕輪 弘数	10,000円
3	第34期	本田 位公子	10,000円
4	第34期	加藤 悦子	10,000円
5	第36期	鈴木 重一	10,000円
6	第37期	山崎 宏志	10,000円
7	第41期	田口 清	10,000円
8	第42期	臼田 佳彦	10,000円
9	第42期	瀬川 千尋	10,000円
10	第45期	深堀 精一	10,000円
11	第64期	清水 誠三	10,000円
寄付者数 11名		合計金額	110,000円

貴重なご寄付をお寄せくださいました皆様方に厚くお礼申し上げます。皆様からいただきました寄付金は、同窓会や母校のために有意義に活用させていただきます。

会長 臼田 佳彦

広告主募集

広告掲載を希望される広告主様を募集しております。掲載料金(消費税込み)は、縦49mm×横81mmサイズは5,000円、1/2サイズは2,500円です。

各号の締切日は、12月中旬となっておりますので、お申し込みは、事務局に電話またはメールにてお願いいたします。

美しい日本語を大切に

株式会社 佐々木印刷所

☎146-0095

東京都大田区多摩川1丁目18番5号

TEL.03-3758-0710

FAX.03-3758-2821

第56期 佐々木 健

電気通信工事関連事業

(平成26年度川崎市優良業者表彰受賞)

アイ通信工事株式会社

〒211-0037 川崎市中原区井田三舞町17-55

TEL:044(798)3201 FAX:044(798)3203

E-mail : aitsusin@athena.ocn.ne.jp

第41期 取締役会長 市川 達雄

スポーツのことなら!

しろがね

白銀スポーツ

ユニホーム・スポーツ用具
用品・施設・工事一般
カップ・賞品・トロフィー

〒143-0024 東京都大田区中央8-29-7

TEL (03) 3754-8679 FAX (03) 3754-4845

第37期 白銀 正明

uno CO.LTD.

ビジュアルプランニングのパートナー
写真の撮影・編集・印刷・製本まで

有限会社 ウーノ 03-3891-6735

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里6-45-3
ハイウエストビル6階

不動産の総合コンサルタント

分譲住宅 設計・施工・販売

神奈川県宅地建物取引業協会会員



株式会社セガ・コーポレーション

〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町8番12号

TEL:045(582)8000 FAX:045(582)8866

第42期 代表取締役 瀬川 千尋



東京都大田区南馬込5-22-10

TEL (03) 3771-7100 営業時間 17:00~23:00

携帯 (080) 5375-8552 月曜定休 (祝日の場合営業)

一企画・デザイン・印刷全般一

トータルプラン株式会社

〒144-0032 東京都大田区北糀谷1-18-14

TEL(03)5736-3447 FAX(03)5736-3448

E-mail : total@wing.ocn.ne.jp

第38期 川邊 國造

ITソリューションサービス



株式会社 KHJサービス

http://www.khjs.co.jp/

〒231-0023 横浜市中区山下町224番地1

山下町Kビル7階

TEL:045(226)3006 FAX:045(226)3007

第42期 相談役 臼田 佳彦

パソコン・一般家電 修理・販売

お気軽にご相談下さい



有限会社 深谷電器

〒145-0073 東京都大田区北嶺町 29-16

(御嶽山商店街内)

電話:03(3728)1446

E-mail:NQF15990@nifty.com

第70期 代表取締役 深谷和弘

事務局だより

☑ 主な同窓会行事と参加のお願い

- 新年会 1月(最終土曜日)
- 定期総会 6月(第1土曜日)
- 懇親旅行 9月下旬～10月中旬
- 東実祭 11月(中旬の土・日曜日)

同窓会の行事は、毎年上記の時期に開催予定となっております。詳細につきましては、ホームページで随時お知らせしておりますので、閲覧いただくか事務局にお問い合わせください。なお、参加申込みは、電話、メールいずれでも構いません。会員(東京実業高等学校の同窓生・元教職員)の方であればどなたでも参加出来ますので、先輩・同期・後輩の方にご連絡いただき、お誘い合わせて是非ご参加ください。(事業部)

☑ 同窓会名の電話に“ご注意”

近年、同窓会関係者を騙った名簿業者から、名簿発行に伴う情報提供の依頼や購入案内が会員に届くなど、名簿を悪用した詐欺も多くなっておりまして、“ご注意”してください。同窓会では、電話による寄付の要請や個人情報に関する問い合わせは一切行っていません。

ご家族の方にも周知されて直ぐに対応しないようにしてください。また、同窓会名でこのような電話がありましたら、必ず事務局または学校にご連絡し、ご確認ください。(事務局)

☑ ホームページにバナー広告を掲載しませんか！

同窓会ホームページにバナー広告の掲載を希望される広告主様を募集しております。掲載料金は1年間20,000円(消費税込み)です。詳細につきましては、ホームページの「広告バナー掲載について」の募集要項をご覧ください。随時受け付けておりますので、ホームページの「お問い合わせメール」または事務局に直接電話でお申し込みください。(広報部)

☑ 常任幹事を募集しています

同窓会では、一緒に活動して下さる常任幹事を募集しています。主な仕事は、年5回ほど平日の夜に開催される役員会議に出席していただき、同窓会行事等の打合せや諸行事へ積極的に参加していただくことなどです。

同窓会の輪を広げるためにも皆様のご協力をお願いいたします。ご協力いただける方は、事務局へ電話・メール等でご一報ください。(事務局)

☑ 卒業記念アルバム貸与・贈呈のお願い

同窓会では、歴代の卒業記念アルバムを所蔵し、東実祭開催の際に展示して来場者に公開しております。

所蔵アルバムは、保管場所(部屋)の変更などの事由により残念ながら欠損年度があります。

いろいろな機会を通して会員の皆様にお願ひして収集して参りましたが、個人的にも大切な思い出の品であり、揃えることが出来ません。皆様方の中に貸与または贈呈して下さる方がおられましたら、是非ご協力くだ

さいますようお願い申し上げます。貸与の場合はコピー後、速やかにお返しいたします。(総務部)

●欠損年度(卒期)

- ・2014年3月卒業(89期)
- ・1993年3月卒業(68期)
- ・1987年3月卒業(62期)
- ・1986年3月卒業(61期)
- ・1981年3月卒業(56期)

編集後記

昨年5月1日、長いようで短い平成という時代が終わり、令和という新たな時代の幕開けとなりました。

本会報誌は、同窓会活動のご案内や報告、母校の各科の近況、部活動の活躍状況や会員の投稿文などを掲載し、母校と同窓会の情報発信誌として、平成2年6月1日に創刊号を発行してから、毎年1回発行し続けて平成の時代に30号を刊行いたしました。四半世紀以上に亘って一度も休刊をせずに刊行出来たのは、ひとえに本誌に携わってこられた関係者の弛まぬ努力と、投稿やご愛読いただいた会員並びに学校関係者の皆様方や広告を掲載いただきました企業様のご支援ご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。

今後も広報部員一同、より充実した内容で皆様のご要望とご期待にお応えするとともに、母校と同窓会の発展に少しでも寄与していけるよう、鋭意努力して参る所存ですので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

広報部責任者 川邊 國造

 東実同窓会報 No. 31 広報部	
責任者	川邊 國造(副会長)
部員	箕輪 弘数(常任幹事) 名取 正人(常任幹事) 神野 行雄(常任幹事) 深谷 和弘(常任幹事) 長瀬 隆史(常任幹事) 高山 俊一(常任幹事)
発行日	令和2年3月1日
編集	東実同窓会報 広報部
発刊	東京実業高校同窓会
事務局	〒144-0051 東京都大田区西蒲田 8-18-1 Tel : 03-3732-4481 Fax : 03-3732-4456
	[ホームページ] URL : http://www.tojitsu-dosokai.com/ Mail : info@tojitsu-dosokai.com
	M-phone : 080-1186-8945 E-mail : tojitsu-dosokai@docomo.ne.jp
	} 学校内
発行人	臼田 佳彦(会長)
編集人	川邊 國造(副会長)
協力	小畑 雅一(副校長) 本田位公子(顧問) 小野 博司(教諭) 米倉 美鈴(事務局)
制作	トータルプラン株式会社